

経 済 学 部
学 力 検 査 問 題

小 論 文

令和6年3月12日(火)

自 9時00分

至 11時00分

答案作成上の注意

1. この問題冊子は、表紙を含み4ページ(片面のみ)です。
2. 解答用紙は3枚、下書き用紙は2枚です。
3. 受験番号は、すべての解答用紙の受験番号欄に必ず記入してください。
また、解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定の箇所に横書きで記入してください。
5. 2桁以上の数字および小数点は2文字を1マスに記入し、数学記号は1文字を1マスに記入してください。
6. 配付した問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。ただし、解答用紙は持ち出してはいけません。

〔I〕 次の文章を読んで、下の問に答えなさい。

著作権保護の観点から、公表していません。

(中略)

著作権保護の観点から、公表していません。

出典：ダニエル・ギルバート（著）熊谷淳子（訳）『幸せはいつもちょっと先にある 期待と妄想の心理学』早川書房，2007 年，192-193 ページから一部抜粋・一部改変。

問 下線部の現象が生じる理由について、本文の内容を踏まえて 300 字以内で説明しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、下の問に答えなさい。

著作権保護の観点から、公表していません。

出典：岡田章『国際関係から学ぶゲーム理論—国際協力を実現するために』有斐閣，2020年，119ページから一部抜粋・一部改変。

問1 (a)～(k)に文意に合致する数式，数値を入れなさい。

問2 下線部に関連して，国際条約によりA国はB国の合意なしに大気を汚染することはできず，浄化率の基準点が $x=1$ である場合について考える。この基準点での利益と効率的な浄化率（両国の総利益を最大化する浄化率）での利益を比べたとき，効率的な浄化率を採用した方が，加害国から被害国への補償を考慮してもなお，基準点での利益を超える利益をそれぞれの国で得られる場合に，両国は効率的な浄化率（両国の総利益を最大化する浄化率）に合意するとする。それは具体的にはどのような場合だろうか。A国，B国の利益と加害国から被害国への損害補償額を考慮して，どういう場合に両国は効率的な浄化率に合意し，それぞれ最終的にいくらの利益を得るか，450字以内で説明しなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読んで、下の問に答えなさい。

著作権保護の観点から、公表していません。

出典：樋口美雄／労働政策研究・研修機構（編）『検証・コロナ期日本の働き方―意識・行動変化と雇用政策の課題』慶應義塾大学出版会，2023 年，327 ページから一部抜粋・一部改変。

問 1 下線部（1）「著作権保護の観点から、公表していません。」の意味を、説明しなさい。

問 2 下線部（2）の文章を踏まえて、なぜ、どちらの対策を重視していくかを政府が問われているのか。300 字以内で説明しなさい。